令和７年６月

okayama police

交通事故発生状況

（令和７年５月末）

岡　山　県　警　察　本　部
交　通　部　交　通　企　画　課

目　　次

1　交通事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2　市区町村別交通事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3　高齢者の交通事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
4　年齢層別免許保有者の交通事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
5　自転車が関係した交通事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
6　携帯電話使用中の交通事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
7　原付以上運転者(第1当事者)の飲酒運転による交通事故発生状況 ・・・・・・12

用語の意味

○　人 身 事 故 ・・・・・・ 人の死傷を伴った事故をいう。

○　物 損 事 故 ・・・・・・ 物の損壊のみの事故をいう。

○　総事故件数 ・・・・・・ 人身事故と物損事故の件数を加えた件数をいう。

○　第１当事者 ・・・・・・ 当該交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者をいい、過失の程度が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。

○　第２当事者 ・・・・・・ 当該交通事故に関係した者のうち、過失がより軽い者をいう。

○　関　係　者 ・・・・・・ 第1当事者又は第2当事者をいう。

○　被　害　者 ・・・・・・ 交通事故に関係して死傷した者をいう。

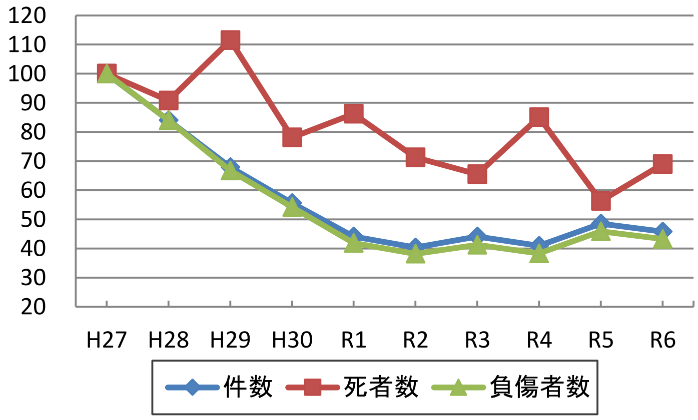
○　昼　　　間 ・・・・・・ 日の出から日の入りまでの間をいう。

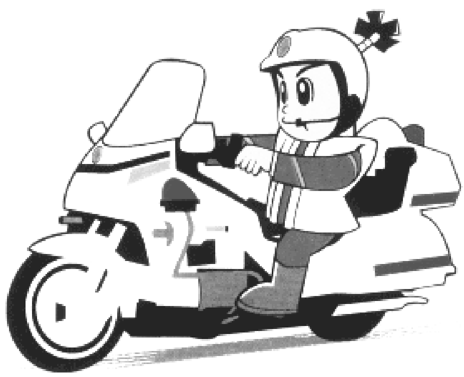
○　交差点付近 ・・・・・・ 交差点の側端から30メートル以内の道路の部分をいう。

○　若　　　者 ・・・・・・ 16歳から25歳未満の者をいう。

○　高　齢　者 ・・・・・・ 65歳以上の者をいう。

指数　　年別推移（平成27年を100とした指数）





交　通　事　故　発　生　状　況　（　５　月　末　）

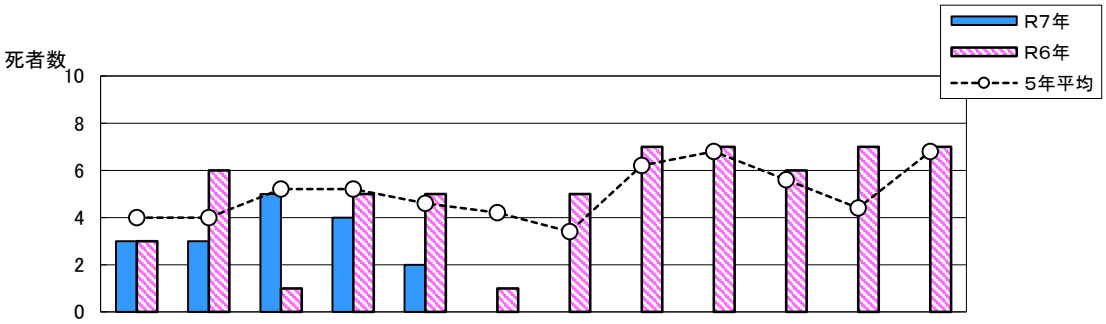
死亡事故件数は前年と比べて２件減少した。
死亡事故の特徴としては、正面衝突や単独事故といった一方的過失による死者が全体の52.9%となっている。
四輪乗車中９人のうち、７人がシートベルト非着用であり、助命率は57.1%となっている。
死亡事故の原因としては、前方不注意が最も多くなっている。
～運転に集中し、前をよく見て運転しましょう～

１　発生状況

区　　分		総事故件数	人身事故					物損事故
			発生件数	うち死亡事故		重　傷	軽　傷	負傷者計	
				件数	死者数				
令　和　７　年		19,919	1,908	17	17	235	1,950	2,185	18,011
前年対比	増減数	−28	−88	−2	−3	−10	−64	−74	60
	増減率	−0.1	−4.4	−10.5	−15.0	−4.1	−3.2	−3.3	0.3
５年平均		18,913	1,847	22.6	23.0	229	1,846	2,075	17,066
５年平均対比	増減数	1,006	61	−5.6	−6.0	6	104	110	945
	増減率	5.3	3.3	−24.8	−26.1	2.8	5.6	5.3	5.5

２　死亡事故の発生状況

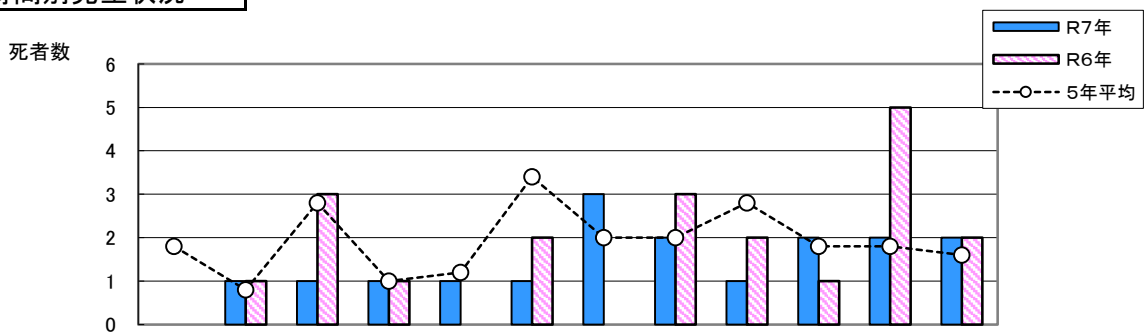
月別発生状況



区　　分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和７年	3	3	5	4	2								17
令和６年	3	6	1	5	5	1	5	7	7	6	7	7	60
５年平均	4.0	4.0	5.2	5.2	4.6	4.2	3.4	6.2	6.8	5.6	4.4	6.8	60.4

○死者数は、前年同期比で３人減少となった。

時間別発生状況



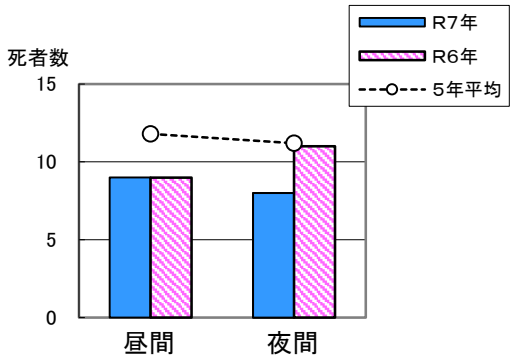
区　　分	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
令和７年	0	1	1	1	1	1	3	2	1	2	2	2	17
令和６年	0	1	3	1	0	2	0	3	2	1	5	2	20
５年平均	1.8	0.8	2.8	1.0	1.2	3.4	2.0	2.0	2.8	1.8	1.8	1.6	23.0

○令和7年は、12時～14時までの時間帯が最も多い。

昼夜別死者数

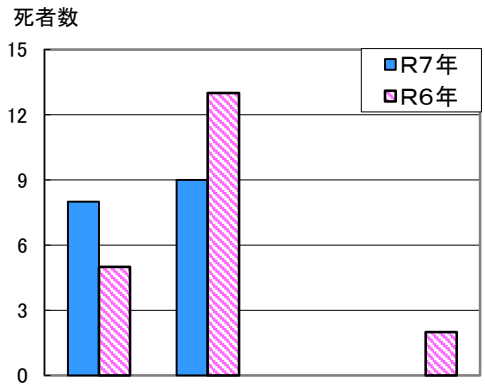
死者数　（人）

区　分	昼　間	夜　間	合　計
令和７年	9	8	17
令和６年	9	11	20
５年平均	11.8	11.2	23.0



○令和７年は、昼間の方が多い。

道路形状別死者数



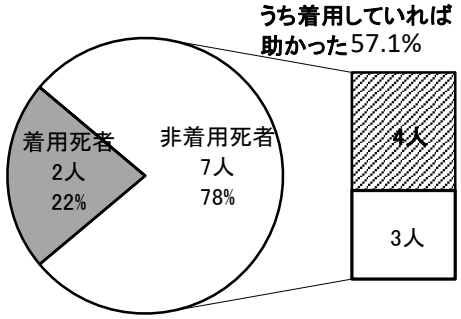
区　分	交差点と付近	単　路	踏　切	その他	合　計
令和７年	8	9	0	0	17
令和６年	5	13	0	2	20

※単路（交差点及びその付近以外の直線・トンネル・橋・カーブ等）

○前年と比べて、交差点及びその付近での事故による死者が大きく増加している。

シートベルト着用状況

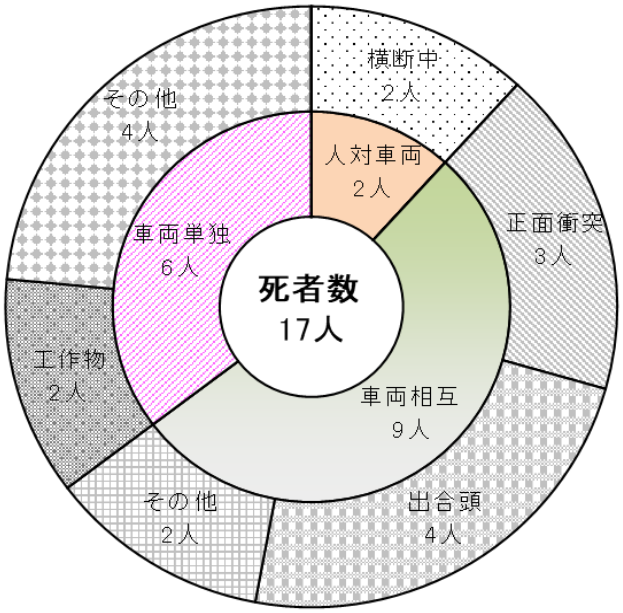
四輪乗車中死者9人中、非着用死者7人、不明0人



区　分	着用死者数	非着用死者数	（うち助命者）	四輪乗車中死者
令和７年	2	7	4	9
令和６年	2	8	6	10

○シートベルト非着用率は78%（助命率57.1%）

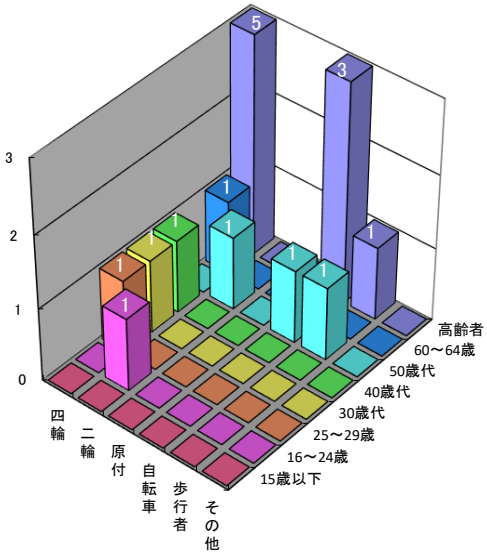
事故類型別死者数



		死　者　数
人対車両	横　断　中	2
	そ　の　他	0
	小　　計	2
車両相互	正 面 衝 突	3
	追　　突	0
	出　合　頭	4
	そ　の　他	2
	小　　計	9
車両単独	工　作　物	2
	そ　の　他	4
	小　　計	6
踏　　切		0
合　　計		17

○一方的過失による死者が半数以上を占める。

年齢別・状態別死者数

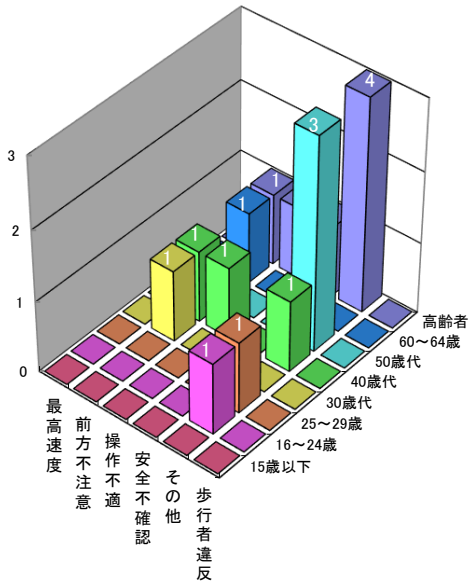


（人）

区分	四輪	二輪	原付	自転車	歩行者	その他	合計	構成率	前年対比
15歳以下							0	0.0%	-1
若者		1					1	5.9%	1
25～29歳	1						1	5.9%	0
30歳代	1						1	5.9%	-1
40歳代	1						1	5.9%	0
50歳代		1		1	1		3	17.6%	-1
60～64歳	1						1	5.9%	1
高齢者	5			3	1		9	52.9%	-2
65～74歳	1			1			2	11.8%	-1
75歳以上	4			2	1		7	41.2%	-1
合計	9	2	0	4	2	0	17		-3
構成率	52.9%	11.8%	0.0%	23.5%	11.8%	0.0%			
前年対比	-1	1	0	0	-3	0	-3		

○四輪乗車中の死者が最も多い。

年齢別・原因別（第１当）件数



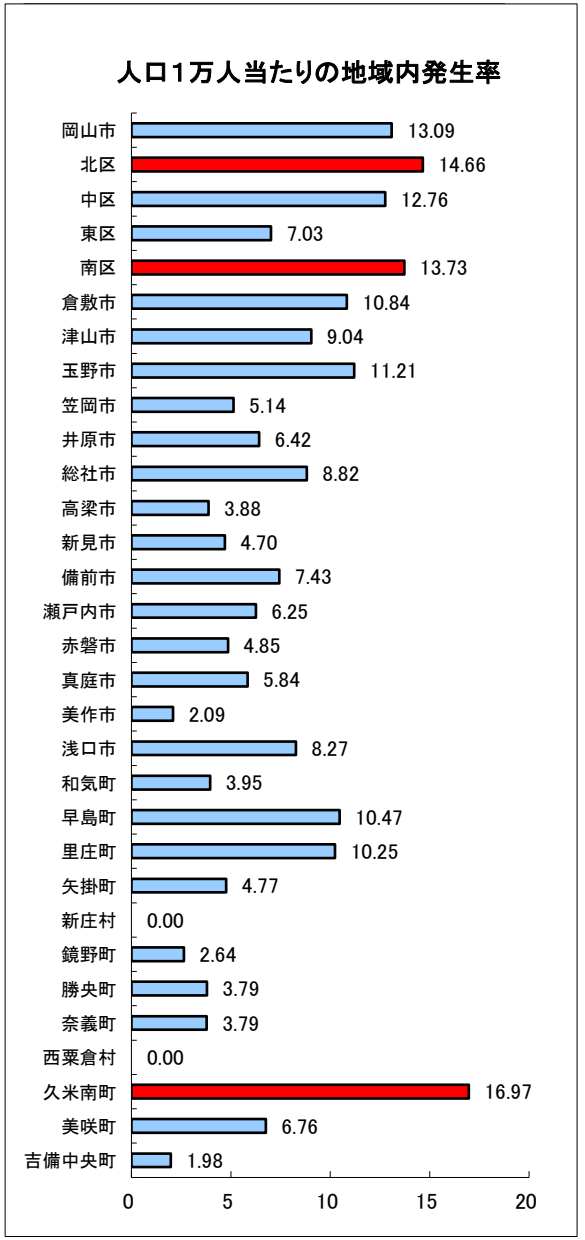
（件）

区分	最高速度	前方不注意	操作不適	安全不確認	その他	歩行者の違反	合計	構成率	前年対比
15歳以下							0	0.0%	0
若者					1		1	5.9%	0
25～29歳					1		1	5.9%	0
30歳代		1					1	5.9%	-3
40歳代		1	1		1		3	17.6%	0
50歳代					3		3	17.6%	1
60～64歳		1					1	5.9%	1
高齢者		1	1	1	4		7	41.2%	-1
65～74歳		1			1		2	11.8%	-1
75歳以上			1	1	3		5	29.4%	0
不明							0	0.0%	0
合計	0	4	2	1	10	0	17		-2
構成率	0.0%	23.5%	11.8%	5.9%	58.8%	0.0%			
前年対比	0	-1	-2	-1	4	-2	-2		

○前方不注意による死者が最も多い。

市区町村別交通事故発生状況（5月末）

区分	市区町村内で発生した事故				市区町村民が起こした事故				住民自身の死者数		人口1万人当たりの発生	
	件数	前年比	死者	前年比	件数	前年比	死者	前年比	死者	前年比	発生率	順位
岡山市	933	−24	2	−4	819	−22	2	−5	1	−8	13.09	−
北区	458	−14	2	−2	341	21	2	−2	1	−3	14.66	2
中区	188	4	0	0	200	5	0	0	0	−1	12.76	4
東区	63	−22	0	−2	74	−25	0	−1	0	−2	7.03	13
南区	224	8	0	0	204	−23	0	−2	0	−2	13.73	3
倉敷市	506	−64	5	−1	496	−27	5	0	5	1	10.84	6
津山市	86	13	1	0	67	−2	0	−1	0	−1	9.04	9
玉野市	59	5	0	−1	65	−6	0	0	0	0	11.21	5
笠岡市	22	−13	0	0	27	5	0	0	0	0	5.14	18
井原市	23	−4	0	0	21	−8	0	0	0	0	6.42	15
総社市	61	−6	1	0	68	−10	2	2	2	2	8.82	10
高梁市	10	2	2	1	12	−4	1	0	1	0	3.88	23
新見市	12	5	1	1	15	5	2	2	2	2	4.70	21
備前市	22	6	1	1	20	−5	0	−2	0	−1	7.43	12
瀬戸内市	22	7	0	−3	29	5	0	−1	0	−1	6.25	16
赤磐市	20	−11	0	0	29	−5	0	0	0	0	4.85	19
真庭市	23	10	1	1	20	5	1	0	1	0	5.84	17
美作市	5	−6	0	0	11	−1	0	0	0	0	2.09	27
浅口市	26	6	0	−1	25	−9	0	−1	0	−1	8.27	11
和気町	5	−1	0	0	9	−3	0	0	0	0	3.95	22
早島町	13	−4	0	0	7	−4	0	0	0	0	10.47	7
里庄町	11	−4	0	0	7	−1	0	0	0	0	10.25	8
矢掛町	6	−6	0	0	4	−7	0	0	0	0	4.77	20
新庄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	29
鏡野町	3	1	0	0	6	−4	0	0	0	0	2.64	26
勝央町	4	−3	0	0	8	6	0	0	0	0	3.79	24
奈義町	2	−2	0	0	2	−2	0	0	0	0	3.79	25
西粟倉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	29
久米南町	7	1	0	0	2	−2	0	0	0	0	16.97	1
美咲町	8	5	0	0	8	1	0	0	0	0	6.76	14
吉備中央町	2	0	1	1	5	−3	0	0	1	1	1.98	28
その他	17	−1	2	2	126	10	4	3	4	3	−	−
合計	1,908	−88	17	−3	1,908	−88	17	−3	17	−3	−	−

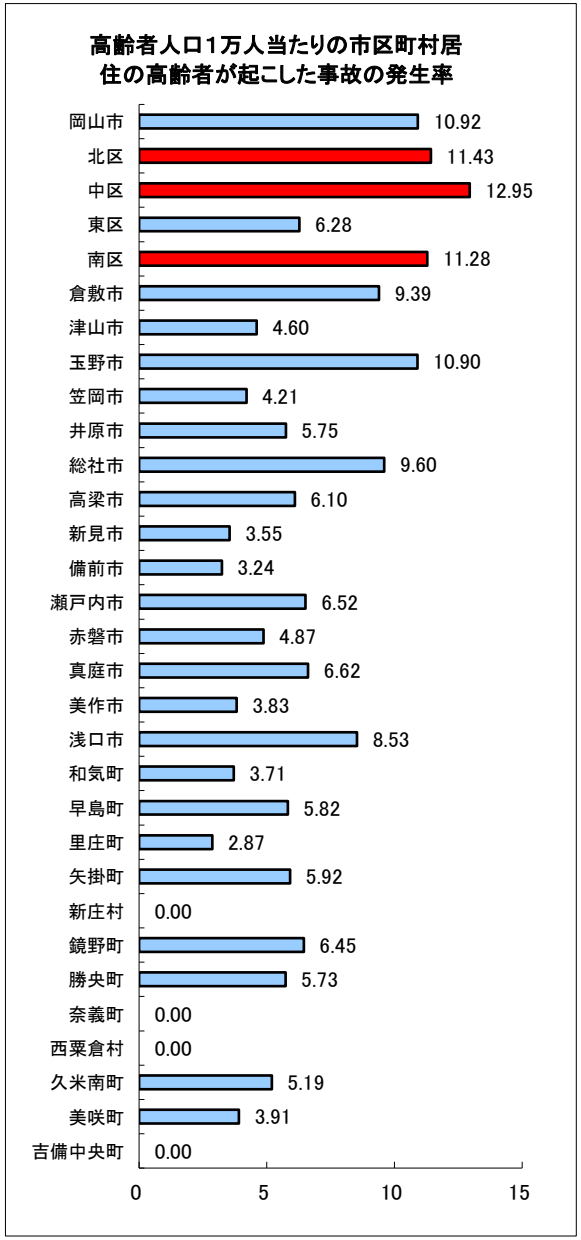


※ その他は高速道路・自動車専用道路又は、県外者

※ 人口1万人当たりの発生率 → $\frac{\text{市区町村内で発生した事故件数}}{\text{市区町村人口}} \times 10{,}000$

2 高齢者が関係する事故

区分	市区町村内で発生した事故				市区町村居住の高齢者が起こした事故				住民自身の死者数		高齢者人口1万人当たりの発生率	
	件数	前年比	死者	前年比	件数	前年比	死者	前年比	死者	前年比	発生率	順位
岡山市	307	−23	2	0	205	−11	1	−3	1	−4	10.92	−
北区	148	−7	2	1	86	−1	1	−1	1	−1	11.43	2
中区	59	−8	0	0	50	1	0	0	0	0	12.95	1
東区	26	−10	0	−1	18	−8	0	0	0	−1	6.28	11
南区	74	2	0	0	51	−3	0	−2	0	−2	11.28	3
倉敷市	176	−31	1	−4	118	−4	1	0	1	−2	9.39	6
津山市	26	−5	1	1	14	−7	0	0	0	0	4.60	19
玉野市	32	−5	0	−1	23	−4	0	0	0	0	10.90	4
笠岡市	10	−6	0	0	7	1	0	0	0	0	4.21	20
井原市	11	−6	0	0	8	−2	0	0	0	0	5.75	15
総社市	21	−6	1	0	19	−1	2	2	2	2	9.60	5
高梁市	7	4	2	2	7	−1	1	0	1	0	6.10	12
新見市	5	2	1	1	4	1	2	2	2	2	3.55	24
備前市	7	0	0	0	4	−5	0	0	0	0	3.24	25
瀬戸内市	12	5	0	−1	8	0	0	−1	0	−1	6.52	9
赤磐市	8	−7	0	0	7	0	0	0	0	0	4.87	18
真庭市	12	7	1	1	11	7	0	0	1	1	6.62	8
美作市	2	−2	0	0	4	1	0	0	0	0	3.83	22
浅口市	14	6	0	−1	10	1	0	−1	0	−1	8.53	7
和気町	2	0	0	0	2	−3	0	0	0	0	3.71	23
早島町	3	1	0	0	2	−1	0	0	0	0	5.82	14
里庄町	5	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2.87	26
矢掛町	2	0	0	0	3	2	0	0	0	0	5.92	13
新庄村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	27
鏡野町	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	6.45	10
勝央町	3	1	0	0	2	2	0	0	0	0	5.73	16
奈義町	1	−1	0	0	0	−2	0	0	0	0	0.00	27
西粟倉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	27
久米南町	2	0	0	0	1	−1	0	0	0	0	5.19	17
美咲町	6	3	0	0	2	0	0	0	0	0	3.91	21
吉備中央町	1	0	0	0	0	−2	0	0	0	0	0.00	27
その他	2	0	0	0	10	−5	0	0	1	1	−	−
合計	678	−61	9	−2	475	−33	7	−1	9	−2	−	−



※ その他は高速道路・自動車専用道路又は、県外者

※ 高齢者人口1万人当たりの発生率 → $\frac{\text{市区町村居住の高齢者が起こした事故件数}}{\text{市区町村の高齢者人口}} \times 10{,}000$

高 齢 者 の 交 通 事 故 発 生 状 況 （5月末）

下記4項目の件数及び構成率において、前年同期比で減少した。

5月末時点において、高齢者の事故件数及び死者数は、令和5年以降増加傾向にあったが、本年は減少傾向に転じている。

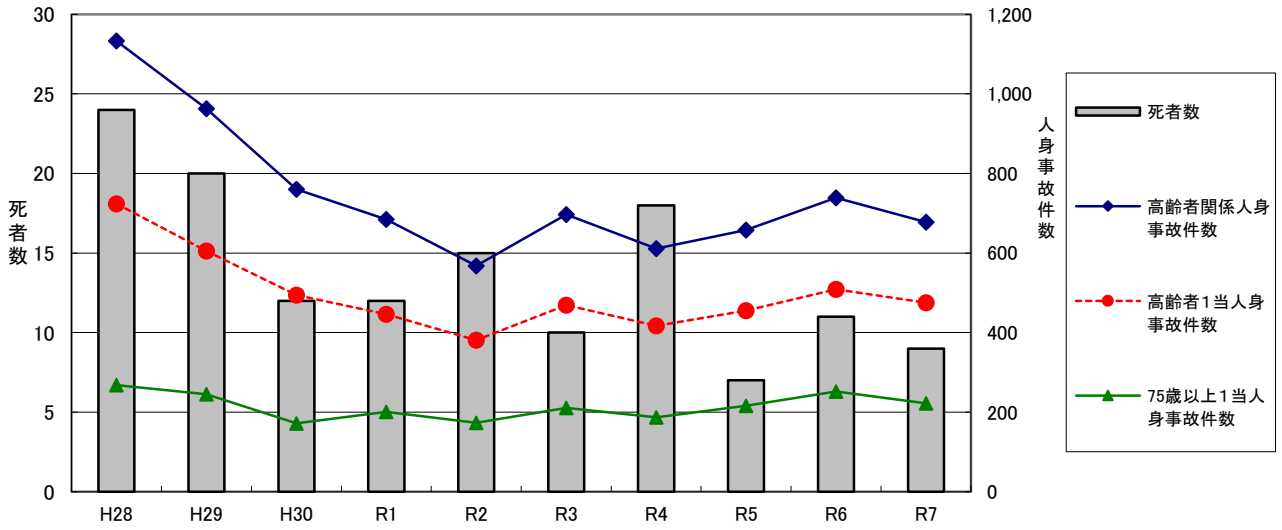
事故類型別に見ると、高齢者以外では追突が多いのに対し、高齢者は出合頭が最も多い。

原因を違反別に見ると、安全不確認が最も多い。

～交差点では、交差車両や歩行者等の安全確認を十分行いましょう。～

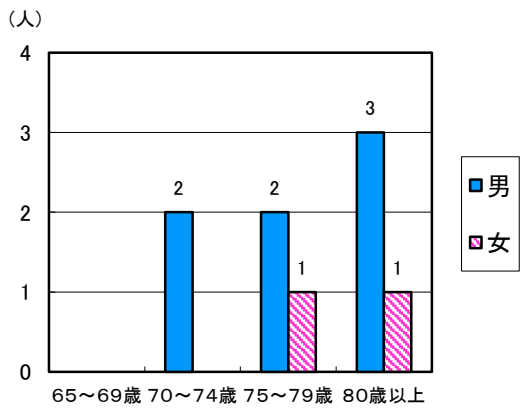
1　10年間の交通事故発生状況

区　　分		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
高齢者関係人身事故件数		1,133	963	760	685	568	697	611	658	739	678
	構成率（%）	30.3	31.2	30.6	34.0	35.9	36.6	34.8	34.9	37.0	35.5
高齢者1当人身事故件数		724	605	494	446	381	469	417	455	509	475
	構成率（%）	19.4	19.6	19.9	22.2	24.1	24.6	23.7	24.1	25.5	24.9
75歳以上1当人身事故件数		268	245	172	201	173	211	187	216	252	222
	構成率（%）	7.2	7.9	6.9	10.0	10.9	11.1	10.6	11.4	12.6	11.6
高齢者死者数		24	20	12	12	15	10	18	7	11	9
	構成率（%）	66.7	57.1	48.0	40.0	57.7	47.6	54.5	46.7	55.0	52.9

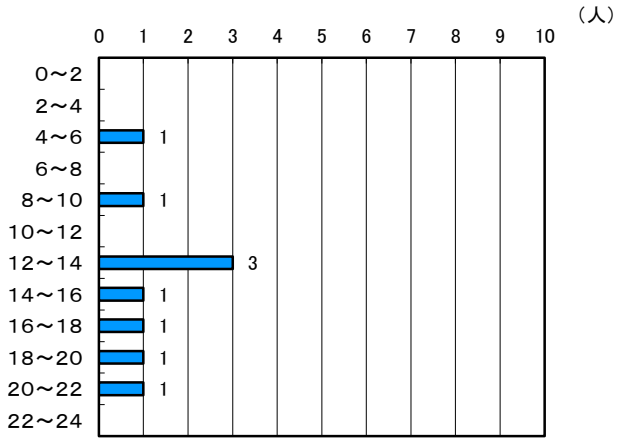


2　高齢者死亡事故の発生状況

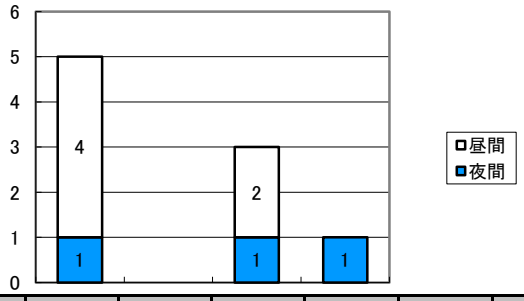
年齢別男女別死者数



時間別死者数

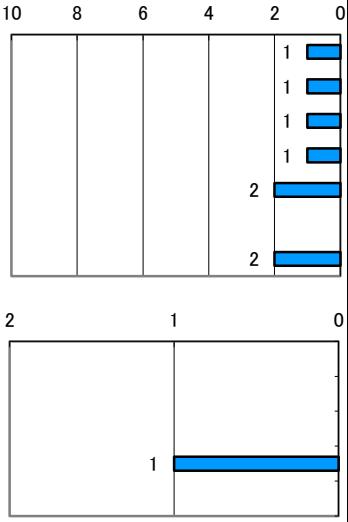


昼夜別・状態別死者数



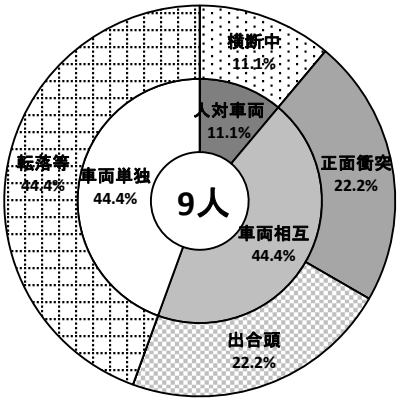
	四輪・その他	二輪・原付	自転車	歩行者	(うち横断中)	計
昼間	4	0	2	0	(0)	6
夜間	1	0	1	1	(1)	3
(うち夜光反射材着用者)	—	—	—	(0)	(0)	(0)
計	5	0	3	1	(1)	9

違反別死者数 ※ 死者の違反による



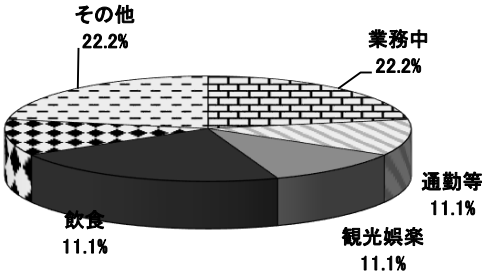
(車両)	人数	構成率
一時不停止	1	11.1%
前方不注意	1	11.1%
安全不確認	1	11.1%
操作不適	1	11.1%
その他	2	22.2%
違反無し	0	0.0%
同乗者	2	22.2%
計	8	88.9%
(歩行者)	人数	構成率
信号無視	0	0.0%
車道通行	0	0.0%
直前直後横断	0	0.0%
その他	1	11.1%
違反無し	0	0.0%
計	1	11.1%
合計	9	—

事故類型別死者数



人対車両	横断中	1
	その他	0
	計	1
車両相互	正面衝突	2
	追突	0
	出合頭	2
	その他	0
	計	4
単独	工作物	0
	転落等	4
	計	4
踏切		0
合計		9

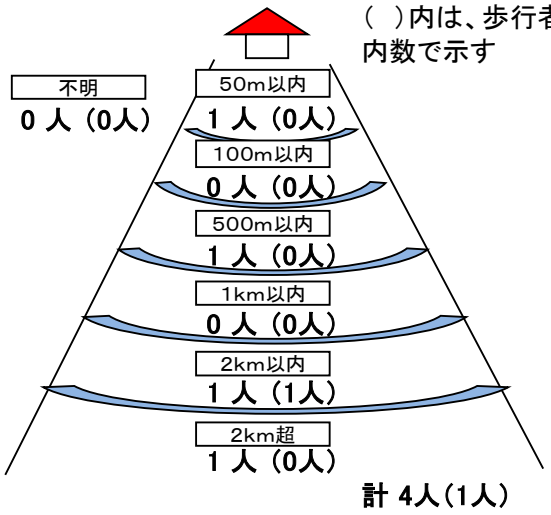
通行目的別死者数



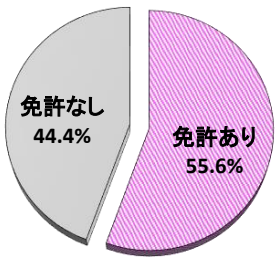
業務中	通勤等	散歩	観光娯楽	買物
2	1	0	1	2
訪問	通院	飲食	その他	計
0	0	1	2	9

自宅からの距離別死者数(自転車・歩行者)

( )内は、歩行者数を内数で示す



免許別死者数



	死者数
免許あり	5
免許なし	4
合計	9

○ 高齢人口・免許保有者の占める率

区分		R2	R3	R4	R5	R6
人口	岡山	29.6	30.7	30.8	31.0	31.2
	全国	28.0	28.9	29.0	29.1	29.3
免許	岡山	26.3	26.9	27.3	27.8	28.2
	全国	23.3	23.5	23.8	24.2	24.6

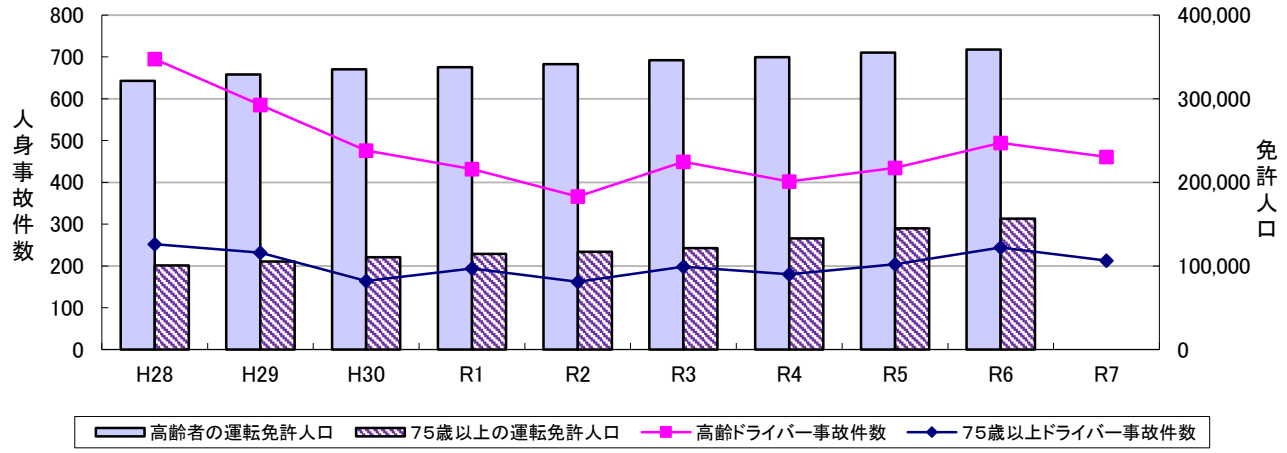
注1 数値は構成率

2 人口は各年の総務省統計資料「10月1日現在の推計人口」による。

3 運転免許保有者数は各年12月末現在の資料による。

3　高齢ドライバー（原付以上）が第１当事者となる人身事故発生状況

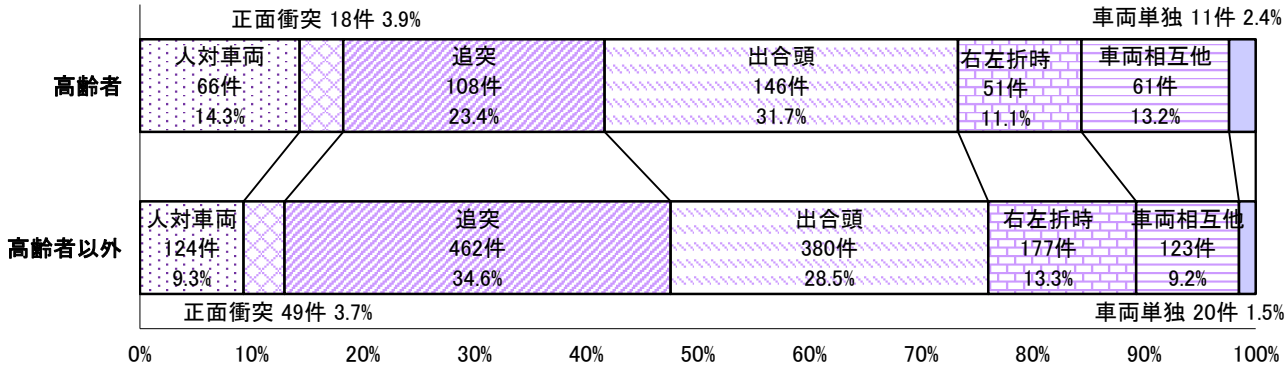
10年間の発生状況(5月末)



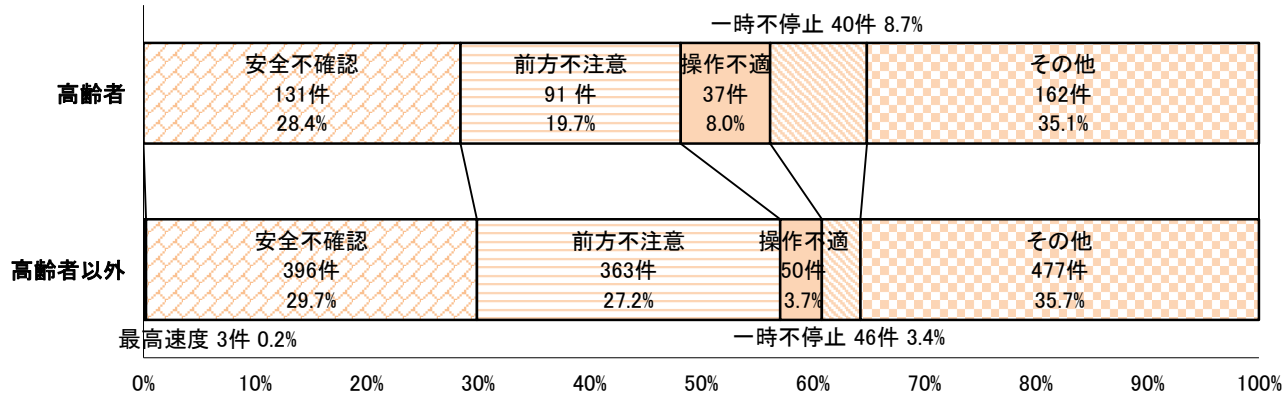
区　　分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
高齢ドライバー事故件数	695	585	476	432	366	449	402	435	494	461
構成率（%）	18.6	18.9	19.2	21.5	23.1	23.6	22.9	23.1	24.7	24.2
75歳以上ドライバー事故件数	252	232	164	194	162	198	180	204	244	213
構成率（%）	6.7	7.5	6.6	9.6	10.2	10.4	10.2	10.8	12.2	11.2
高齢者の運転免許人口	321,521	328,899	335,336	337,851	341,487	346,089	349,690	355,118	358,768	－
75歳以上の運転免許人口	100,559	105,487	110,219	114,308	116,783	121,357	132,837	145,109	156,410	－

※ 構成率は、全人身事故件数に占める割合をいう。
※ 運転免許人口は各年12月末現在の資料による。

事故類型別

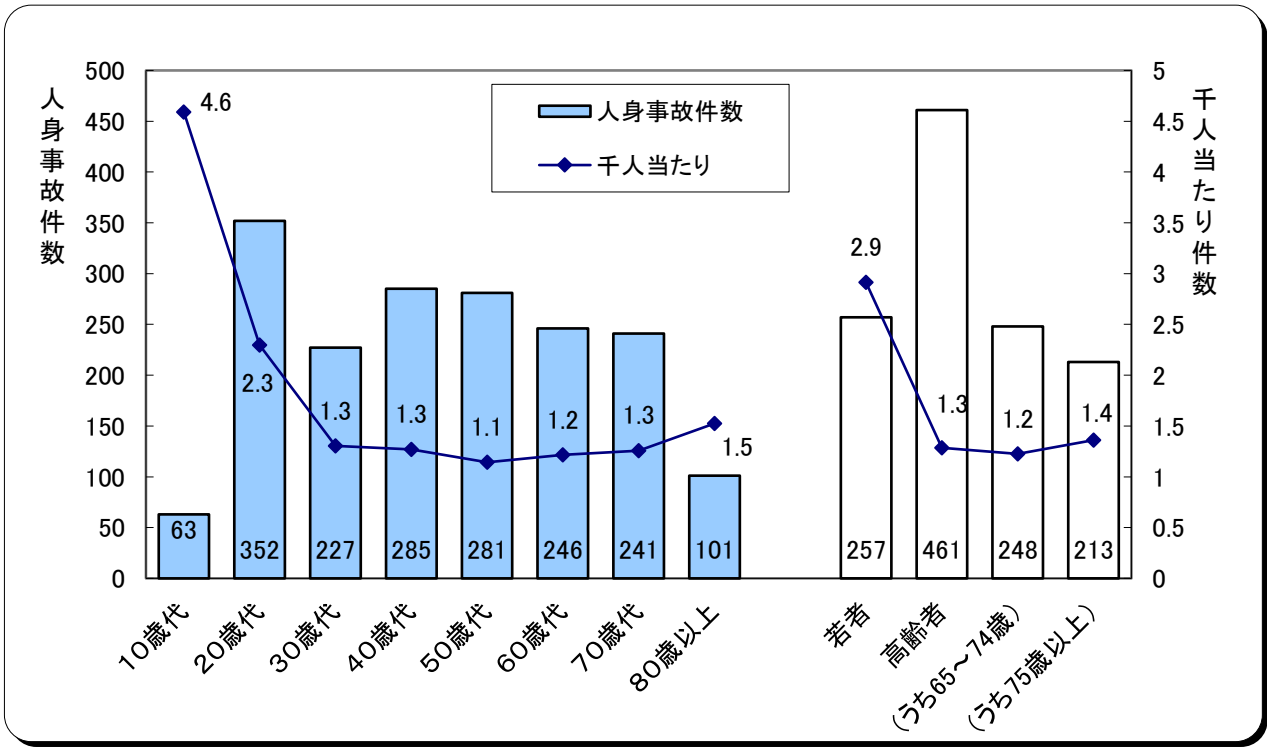


違 反 別



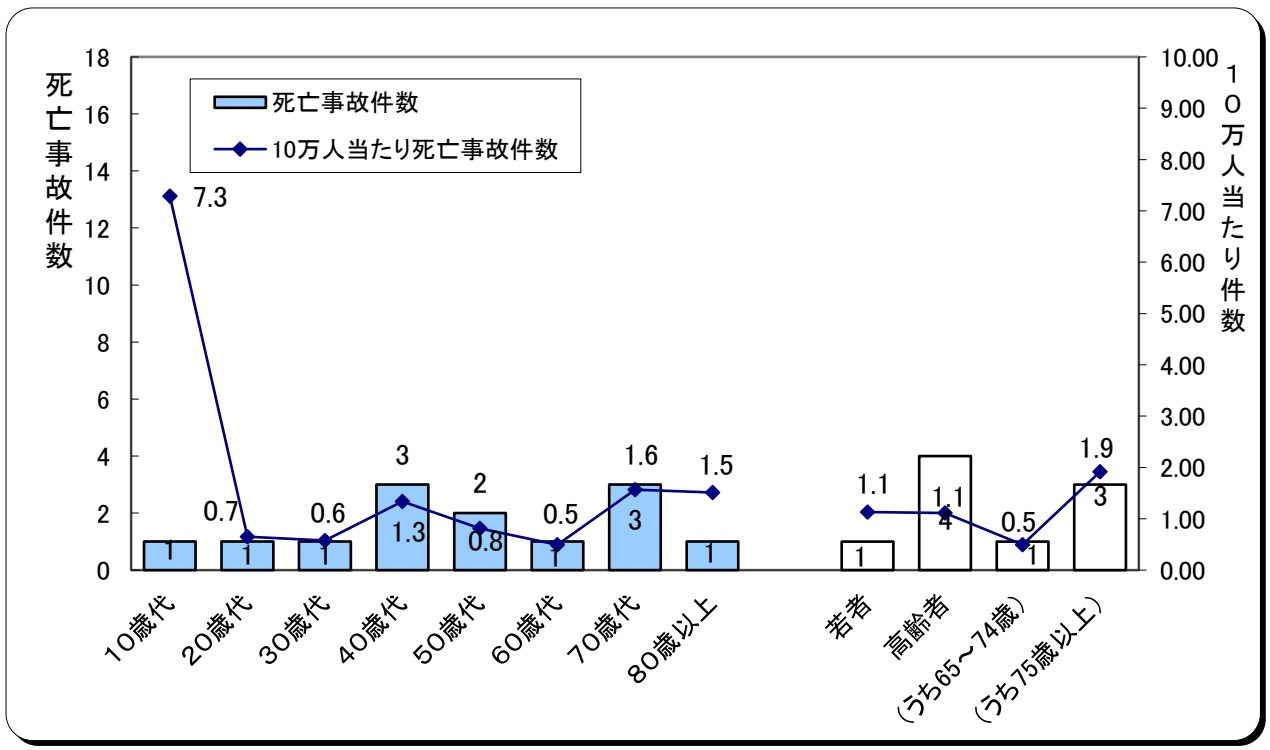
年齢層別免許保有者の交通事故発生状況(5月末)

1　年齢層別免許保有者千人当たりの「人身事故」件数【原付以上運転の第１当事者】



※　若者とは、16歳から25歳未満の者を表す。
※　免許人口は令和6年12月末現在の資料による。

2　年齢層別免許保有者10万人当たりの「死亡事故」件数【原付以上運転の第１当事者】



※　免許人口は令和6年12月末現在の資料による。

自転車が関係した交通事故発生状況(5月末)

1 交通事故発生状況

	件 数	死者数	負傷者数		
				重傷者数	軽傷者数
令和7年	428	4	417	63	354
令和6年	449	4	439	62	377
増減数	−21	0	−22	1	−23
増減率	−4.7	0.0	−5.0	1.6	−6.1

※ 件数は自転車が関係した事故件数、死傷者数は自転車自身の被害を表す。(以下同じ。)

2 月別

(件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年	93	68	86	89	92								428
令和6年	82	81	86	93	107	75	88	85	84	93	90	105	1,069

3 時間別

(件数)

	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	合計
令和7年	1	0	5	57	86	42	44	45	77	48	20	3	428
構成率	0.2	0.0	1.2	13.3	20.1	9.8	10.3	10.5	18.0	11.2	4.7	0.7	―

4 道路形状別

	件 数	構成率
交差点	292	68.2
交差点付近	14	3.3
その他	122	28.5
合 計	428	―

5 事故類型別

		件 数	構成率
人対車両		9	2.1
車両相互	正面衝突	12	2.8
	追 突	5	1.2
	出合頭	260	60.7
	右左折時	109	25.5
	その他	30	7.0
車両単独		3	0.7
列 車		0	0.0
合 計		428	―

6 年齢層別・違反別(第1当事者)

(件数)

	一時不停止	安全不確認	信号無視	操作不適	通行区分	前方不注意	徐行	優先通行	その他	合計	構成率
幼 児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小学生	1	3	0	0	2	0	0	0	2	8	9.1
中学生	3	4	0	0	0	1	0	0	2	10	11.4
高校生	3	5	1	0	0	1	0	0	7	17	19.3
その他少年	2	1	0	0	2	0	0	0	1	6	6.8
20歳代	3	2	0	0	0	1	0	0	7	13	14.8
30歳代	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	4.5
40歳代	0	3	1	0	0	0	0	0	3	7	8.0
50歳代	2	1	1	0	0	2	0	0	1	7	8.0
60歳代	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4	4.5
70歳代	2	3	0	1	0	1	0	0	1	8	9.1
80歳以上	0	2	0	1	0	0	0	1	0	4	4.5
合 計	16	25	4	3	4	6	0	1	29	88	―
構成率	18.2	28.4	4.5	3.4	4.5	6.8	0.0	1.1	33.0	―	―
若 者	6	7	1	0	2	2	0	0	15	33	37.5
高齢者	2	5	0	2	0	1	0	1	1	12	13.6

※ 若者、高齢者は重複計上。

※ 調査不能は除く

携帯電話使用中の交通事故発生状況(5月末)

1　携帯電話使用中の交通事故

区　　分	全人身事故件数	携帯電話の使用が要因となった人身事故件数			
			死　者　数		負　傷　者
令和7年	1,908	6 (0)	0	(0)	9 (0)
令和6年	1,996	10 (3)	0	(0)	11 (3)
増 減 数	−88	−4 (−3)	0	(0)	−2 (−3)
増減率(%)	−4.4	−40.0 (−)	−	(−)	−18.2 (−)

※　件数は、携帯電話等の使用が事故要因となった人身事故の件数をいう。(以下同じ。)
※　死傷者数は、その事故による死傷者をいう。(以下同じ。)
※　(　　)内は、自転車乗用中の使用を内数で示す。(以下同じ。)

2　月別件数

区　分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計
令和7年	3 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)								6 (0)
令和6年	2 (0)	0 (0)	5 (2)	3 (1)	0 (0)	2 (0)	6 (0)	3 (2)	2 (0)	4 (0)	3 (1)	1 (1)	31 (7)

3　事故類型別件数

区　分	人 対 車 両	車　両　相　互			車 両 単 独	合　計
		追　突	出 合 頭	そ の 他		
令和7年	1 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)
令和6年	1 (1)	6 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (3)

4　男女別件数

区　分	男　性	女　性	合　計
令和7年	5 (0)	1 (0)	6 (0)
令和6年	7 (3)	3 (0)	10 (3)

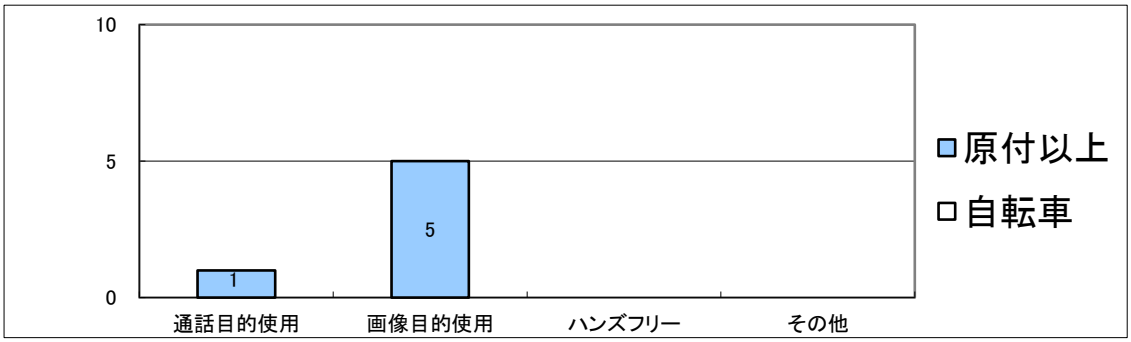
5　昼夜別件数

区　分	昼　間	夜　間	合　計
令和7年	3 (0)	3 (0)	6 (0)
令和6年	7 (2)	3 (1)	10 (3)

6　年代別件数

区分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合　計
令和7年	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	6 (0)
令和6年	2 (2)	5 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	10 (3)

7　携帯電話の使用形態別件数(令和7年)



※　画像目的使用は、「メール、インターネット等の画像を見ていた」など。
※　その他は、「携帯電話を取ろうとした」、「携帯電話に脇見した」、「使用後置こうとした」など。

原付以上運転者（第１当事者）の飲酒運転による交通事故発生状況(5月末)

１　飲酒運転の交通事故

(1)　対前年比

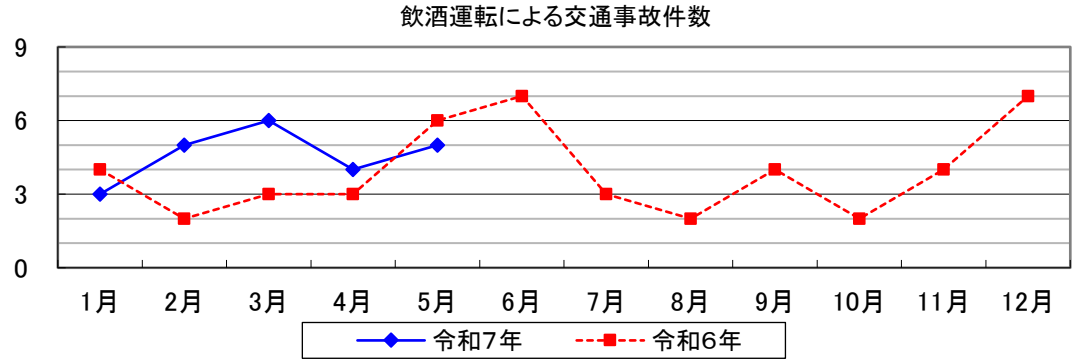
	件　数	死者数	負傷者数		
				重　傷	軽　傷
令和７年	23	1	28	2	26
令和６年	18	3	20	3	17
増減数	5	−2	8	−1	9
増減率	27.8	−66.7	40.0	−33.3	52.9

※　件数は第１当事者の飲酒事故件数（酒酔い、酒気帯び運転）をいう。（以下同じ。）
※　死傷者数はその事故による死傷者数をいう。（以下同じ。）

(2)　月別発生状況

ア　事故件数　（件数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和７年	3	5	6	4	5								23
令和６年	4	2	3	3	6	7	3	2	4	2	4	7	47



イ　死亡事故件数　（件数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和７年	0	1	0	0	0								1
令和６年	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	5

◇　死者数　（死者数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和７年	0	1	0	0	0								1
令和６年	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	6

２　年別推移（各年12月末・R7年は5月末）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
件　数	60	47	58	48	40	25	27	43	47	23
死者数	2	2	5	2	3	1	0	3	6	1
負傷者数	73	59	77	58	54	27	39	48	53	28
重傷	10	5	7	8	12	1	3	10	7	2
軽傷	63	54	70	50	42	26	36	38	46	26

【参考】

- 平成14年 6月 1日　○ 道路交通法第65条（酒気帯び運転等の禁止）の罰則の強化についての改正道路交通法施行
  ○ 酒気帯び運転（0.15mg/ℓ以上0.25mg/ℓ未満）の新設及び飲酒運転等悪質・危険な違反行為に対する点数の引き上げについての改正道路交通法施行
- 平成14年12月25日　危険運転致死罪の新設についての改正刑法施行
- 平成18年 8月25日　福岡市内で飲酒運転により幼児３人が死亡
- 平成19年 9月19日　飲酒三罪の新設及び飲酒運転に対する罰則の強化についての改正道路交通法施行（車両等提供罪、酒類提供罪、同乗罪）
- 平成21年 6月 1日　飲酒運転等の悪質・危険な違反行為に対する点数の引き上げについての改正道路交通法施行令施行